

① 建設産業部について

- (1) 建設産業部の誇れる政策はなにか。
- (2) 人生100年時代に入り、地域の公園整備はますます大事となってきた。幸福度日本一を目指した政策の中で、「健幸」へ向かって「長寿宣言」へと取り組んでいる。健康は「きょういく」と言っている人がいるが、1つ目は「教育」であり、2つ目が「今日行く」である。地域の人たちが、今日行って、集い・憩う場所は身近な公園である。団地も高齢化が進み、孤立化が目立っている。東屋を設置して「健幸」政策を実現すべきと思うがどうか。
- (3) 歩道、これも高齢化が進めば見直しが必要となってくる。特に体の不自由な方や高齢者用の電動車が通行できない状態であるところもある。どう対策を進めるのか。
- (4) 自然災害が多数発生している。町内の法面对策は万全か。長与ニュータウンの山側の崖の安全対策はどうか。また55番地114から55番地115にかけての下斜面の法面の安全対策はどうか。

② 防災対策について

今年は稀に見る大自然災害が全国各地で発生し、尊い命が多数奪われました。とともに、甚大な損害をうけました。そこで、

- (1) 本町における防災対策で良かった点は何か。
- (2) これを契機に検討すべき点は何があるのか。
- (3) 避難場所の件で、諫早大水害を経験した者として危惧している。それは長与川の左岸には大規模な避難場所がない。川が氾濫したときに、対岸の避難場所へは行けない状態となる。そこで、この一帯の住民を守る、大規模な避難場所が必要と思うが対策はどうなっているか。
- (4) 民有地同士の災害が発生した時の対応はどうなるのか。行政としては対応しないのか。あるいは、援助策があるのか。

③ 教育行政について

- (1) エアコンが全国的になり本町も設置となったが、冷暖兼用を設置するのか。校舎の建替が必要とされる校舎があるのか。あったとしたら、そこにも設置するのか。
- (2) 2017年度の、学校のいじめ問題が話題となっている。ある新聞では、「いじめ41万件、過去最多。小1～小5年の増加が顕著だった。県内219件増、小学校で急増」と、10月26日付の朝刊で発表されていた。過去も心配しつつきたが、本町の状況はどうか。増えているのか、その対策はどうか。
- (3) 学校運営については、学校当局と地域のみなさん方との協力で成り立っているが、最近、コミュニティ・スクール制度が話題となっている。どのような利点があり、欠点があるのか。本町の取り組み方はどうか。また、その場所は校舎と同一場所に一本化するのか。
- (4) 生涯学習の一環として、上長与公民館の風呂場はどのように検討されたのか。跡を、児童生徒たちのための勉強の場として、開放してもよいと思うがどうか。また、タタミの間は、そのまま地域の憩いの場として開放していくべきと思うがどうか。
- (5) 長与町総合教育会議を傍聴させてもらいましたが、意見などをどのように取り入れて教育行政に生かしているのか。